

原発事故は現在進行形

会社役員

(福島県 57)

東京電力福島第一原発事故から6年が経過しました。

事故の前、地震や津波があっても原発は自動停止して冷却が続けられ、放射能漏れなど決して起きないと思っていました。東電や国の説明からは、こんな重大事故があるとは想像できませんでした。

国は多くの交付金を出して、原発建設を進めてきました。確かに出稼ぎに行か

なくても地元で働けるようになり、交付金で町が整備されました。良いことがあったのは事実です。

しかし、引き換えに原発事故でふるさとを失いました。あまりに大きな代償ではないでしょうか。いまだに多くの人が避難生活を送っています。

被災地以外の人々は、原発事故は終わったものと思っはいませんか。避難指示の解除で元の生活が送れると思っはいませんか。そうではないのです。原発事故は過去形ではなく、現在進行形だといふことを忘れないで下さい。